

2020年度 看護部教育企画コース内容

	ナラティブコース	看護過程	コミュニケーション	看護知識・技術	フィジカルアセスメント	シミュレーション
ケアする力		○		○	○	
ニーズをとらえる力	○	○	○		○	○
共同する力			○			○
意志決定する力	○		○			
目的	自分の行っている看護を語ることで、自分の大切にしている看護に気づく	1. 看護過程の理解を深め、事例検討を通してアセスメントを高める 2. 事例をまとめて、発表する力を高める	自分も相手も大切にしながら、自分の意見や考え、気持ちをその場に相応しい方法で伝える	自信を持って根拠のある看護を提供できる	フィジカルアセスメント研修を通し看護実践に必要なアセスメント能力を高める	シミュレーションで疑似体験することで判断力・行動力を身につける
目標	研修を受けた後、日々の看護へのモチベーションが高まる 自らの命の大切さに気づく 相手の命の大切さに気づく 看護を語るができる	ラダーⅠ：事例のまとめと発表ができる ラダーⅡ：アセスメントに着目した、看護過程が展開できる。 ラダーⅢ：個別性に着目した、看護過程が展開できる。 計3回予定	傾聴のスキル身につける 相手の想いをくみ取るスキルを身につける 相手の気持ちを尊重しながらも自分の気持ちも伝えるスキルを身につける	患者のニーズに対応するため専門的知識を身につけ、アセスメントする能力を高め看護が提供できる	フィジカルアセスメント研修を通し看護実践に必要なアセスメント能力を高める	【新人+ラダーⅠ】・患者の観察ができる・応援を呼び先輩看護師と一緒に判断できる・SBARで報告できる 【ラダーⅡ】・患者の状態をアセスメントできる・自分が行うべきことが判断できる・BLSができる 【ラダーⅢ】・患者状態を把握し予測を持った判断ができる・スタッフに的確に指示ができる

※看護研究は長野県看護協会の研修へ参加を推奨・※看護倫理は副師長会主催の「ほっとサロン」への参加を勧める